第４節　健康を支え守るための社会環境の整備

◇ 基本的な考え方

個人の健康は，地域などの社会環境の影響を受けるため，健康に関心を持ち，健康づくりに取り組みやすいよう，健康づくり活動を支える地域環境を整備することが必要です。行政のみならず，地域や関係団体などとの協働の取り組みを推進しながら，市民が主体的に行う健康づくりに関し総合的に支援する体制が必要です。

◇現状と課題

ア　市民の主体的な健康づくりを支える地域づくり

市民が地域活動に参加し，その活動を通じて地域との絆を深めることは，心身の健康の維持・増進や生活の質の向上につながります。地域活動の拠点である地区公民館等と情報共有を図りながら，健康づくりに取り組む市民の支援を行うことが必要です。

イ　健康づくりに関する団体・機関との連携

市民の健康を守るための社会環境として，医師会・歯科医師会・保健所，体育協会・かしまスポーツクラブ・民間のスポーツクラブ，シニアクラブなどの各種団体等，様々な関係機関との情報交換が不可欠であり，市民の健康を支え守る取り組みを，連携して推進することが重要です。

また，地域で活動する食生活改善推進員や，その他，関連する団体などの活動を支援することが必要です。

◇目標項目

○　市民の主体的な健康づくりを支える地域づくり
○　健康づくりに関する団体・機関との連携の強化

◇ 対策

自分の健康は自分で守る意識と習慣づくりのもと，健康を支え，守る社会環境の整備を推進します。

〇市民の主体的な健康づくりを支える地域づくり

・地区公民館等と情報共有を図り，健康づくりに関する地域活動の支援を行う
・広報やホームページを利用した，健康づくりに関する情報の発信
・健康増進施設の環境整備と活用の推進

〇健康づくりに関する団体・機関との連携の強化

・各団体・機関との連携と情報の共有化
・「鹿嶋市食生活改善推進員連絡協議会」の組織活動の支援及び育成